

鈴小 ◆ だより

伊丹市立鈴原小学校

令和8年2月17日号



2月6日から2月22日まで、世界のお祭りが開かれていることを知っていますか。4年に1回行われる「冬季オリンピック」が、今年はイタリアのミラノやコルティナで開催されています。冬季オリンピックは、氷や雪の上で行われるスポーツの世界大会で、世界中の選手が集まる“スポーツのお祭り”です。

では、実際にはどんなスポーツが行われているのでしょうか？ 氷の上では、カーリングやフィギュアスケート、アイスホッケーなどが行われています。そして雪の上の競技には、スキージャンプやスノーボードなどがあります。また今回の大会で初めて、スキーで山を登り、滑り降りるスキーマウンテンアリソグという競技が取り入れられました。したことも、見たこともないスポーツもあったのではないのでしょうか？

今回の冬季オリンピックには、92の国や地域が出場しています。みなさんがよく知っているアメリカやドイツ、中国なども出場していますが、あまり馴染みのない国や地域からもたくさん出場しています。例えば、マダガスカルという国も出場しているのですが、みなさんはマダガスカルがどんな国なのか知っていますか？ マダガスカルは、ワオキツネザルという動物が住んでいる、あたたかくて雪の降らない国です。他にもブラジルやジャマイカなど、あたたかい国から出場している選手たちは、オリンピックという世界の舞台を目指して、雪が降る国に行って練習したり、雪や氷がなくてもできる練習の仕方を考えたりと工夫しながら頑張ってきたそうです。

オリンピックは、スポーツを通して世界のみんなが**つながる**場所です。そして「冬季オリンピック」という一つのことから、いろいろなスポーツや国のことを知ることができます。周りにつながる第一歩は、まず「**知る**こと」です。みなさんもぜひ、冬季オリンピックについて、見たり聞いたり、調べたりして、いろいろなスポーツやいろいろな国のことを知り、世界とつながってみてください。



書き損じハガキの回収へのご協力、ありがとうございました

世界中の学校に通えない子どもたちが学べる場所をつくる活動「ユネスコの世界寺子屋運動」の書き損じハガキ回収にご協力いただき、ありがとうございました。地域の方がわざわざ学校に届けてくださったり、「切手そのものでも可」ということを自分で調べてくれたのか、切手を入れてくれた人もいたりしました。その結果、鈴原小学校では**ハガキ155枚、切手35枚**が集まりました。協力してくださった方々、本当にありがとうございました。

今回集まった書き損じハガキや切手が、学校に通えない子どもたちの学びの場をつくることにつながります。このような活動があることを**知り**、実際に活動したことが、世界に**つながっていく**のですね。鈴原小学校の学校教育目標『「つながり」いっぱい だれもが行きたくなる学校』でも、「**つながり**」がキーワードになっています。誰かとつながるためには、まず知ることが大切です。学校でも子どもたちに、身近なことだけではなく、世界につながるいろいろなことを知る機会を持たせていきたいと思います。

